

# 農業技術センター普及指導部作物関係情報

## タイトル：水稻の生育状況（7月14日現在）について

発信日：平成29年7月20日

### 1 内容

平年値(平成19～28年までの過去10年平均)と比べ、7月14日現在の水稻の生育状況は以下の表1のとおりです。はるみの生育状況については、本年のキヌヒカリとの対比になります。

表1 水稻の生育状況(7月14日現在)

品種	移植時期	草丈	茎数	葉色
キヌヒカリ	6月上旬	同等	多い	同等
	6月中旬	低い	同等	薄い
はるみ	6月上旬	キヌヒカリと同等	キヌヒカリより多い	キヌヒカリよりやや薄い
	6月中旬	キヌヒカリよりやや高い	キヌヒカリより多い	キヌヒカリと同等
さとじまん	6月上旬	同等	多い	同等
	6月中旬	やや低い	多い	同等

### 2 留意事項

今後の水稻の技術指導においては、次の点に留意して実施します。

- (1) 気象庁が7月13日に発表した1か月予報では、気温は高い、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並となっています。
- (2) 出穂期は、7月14日現在の生育状況と今後の気象予報から判断すると、平年より早まる見込みです。
- (3) 追肥は、玄米の充実促進と外観品質向上のために実施します。

追肥時期は幼穂の長さから判断し、施用量は水稻の生育状況や品種、水田の状況により調整を行います。5月下旬植え「キヌヒカリ」と「はるみ」は追肥の施用時期を迎えているので、幼穂の長さを確認してから施用しましょう。

参考までに、平年の追肥の時期と量は次のとおりです。

#### ◎平年の追肥 時期と量

- キヌヒカリ 時期：出穂期の20日～15日前頃【幼穂長2～15mm程度】  
施用量：窒素成分2kg(10a当たりNK化成C6号では12kg程度)
- はるみ 時期：出穂期の15日前頃【幼穂長15～20mm程度】  
施用量：窒素成分2kg(10a当たりNK化成C6号では12kg程度)
- さとじまん 時期：出穂期の15日～10日前頃【幼穂長15～70mm程度】  
施用量：窒素成分2～3kg(10a当たりNK化成C6号では12～18kg程度)

#### ◎施用量の判断

- ・多日照、高温の場合は多くします。
- ・乾田や堆肥を施用しない場合は多く、湿田や堆肥を施用した場合は少なくします。

#### (4) 水管理

穂ばらみ期（出穂期の18日前頃）から出穂後10日までの期間は、稲がもっとも水を必要とする時期であるため、水を切らさないように注意します。高温時はかけ流し灌水を行い、高温障害による白未熟粒の発生を回避します。

#### (5) 病害虫防除

##### ・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

県内でスクミリンゴガイの発生地域が拡大しています(写真1)。被害はだいたい移植後3週間程度までなので、これからの水稻食害は心配ないですが、落水までの間、拡大防止のために以下の対策を行います。

○ピンク色の卵（卵塊 写真2）を水田内、畦畔・水路周辺で確認したらすべて潰します。

○水田内への侵入・隣接水田への被害拡大を防ぐために、水口・水尻に6～9mm目合いの網を設置して捕殺します（写真3）。



稲株元のスクミリンゴガイ(写真1) 水稻に産み付けられた卵塊(写真2) 水口へネットを設置した様子(写真3)

##### ・イネツトムシ（イチモンジセセリの幼虫）

イネツトムシのふ化最盛日（県平均）を7月21日頃（県内各地域の予測ふ化最盛日は、病害虫防除部のホームページを参照）と予測しています。

薬剤の剤型にあわせて適期に防除を行ってください。



イネツトムシ(写真4)

左上;被害状況 右上;卵  
左下;成虫 右下;幼虫

##### ・斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類は、畦畔等の雑草で増殖するため、除草を徹底することが有効です。ただし、出穂期頃の除草は、カメムシ類を水田に追い込むことになるため、畦畔雑草の除草は出穂10日前までに必ず終わらせます。



ホソハリカメムシ(写真5)

※ 病害虫の発生状況等については、病害虫防除部の情報等に注意しましょう。

- (6) 農作業中の熱中症を予防するため、日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等の工夫を行いましょ。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給します。また、帽子を着用し、汗を発散しやすい服装を身につける。

**【参考】**

**◎農業技術センター（平塚市）における平年値（概ねの目安）**

作期	品種名	追肥の適期	穂ばらみ期	出穂期
5月下旬植	キヌヒカリ	7月17日～22日頃	7月19日～8月6日頃	8月6日
	さとじまん	7月29日～8月3日頃	7月26日～8月13日頃	8月13日
6月上旬植	キヌヒカリ	7月20日～25日頃	7月22日～8月9日頃	8月9日
	はるみ*	7月26日頃	7月23日～8月10日頃	8月10日
	さとじまん	8月1日～6日頃	7月29日～8月16日頃	8月16日
6月中旬植	キヌヒカリ	7月26日～7月31日頃	7月28日～8月15日頃	8月15日
	はるみ**	8月1日頃	7月29日～8月16日頃	8月16日
	さとじまん	8月6日～11日頃	8月3日～8月21日頃	8月21日

(注意) 水稻の生育に関する平年値は、平成19～28年のデータに基づく。

5月下旬植については、平成14～18年（5年平均）のデータに基づく。

\*；平成20～24、26～28年のデータに基づく。\*\*；平成21年～24、27、28年のデータに基づく。

**連絡先**

農業技術センター普及指導部作物加工課  
平塚市上吉沢1617  
TEL：0463-58-0333 内線381～384  
FAX：0463-58-4254